



阿賀野川
えとこだ
プロジェクト

阿賀野川
えとこだプロジェクト



阿賀野川
エコ
ミュージアム

阿賀野川
エコミュージアム

フォーラム 第2回

阿賀野川が迎った光と影の歴史から、流域再生の未来を探る。

阿賀野川エコミュージアム を目指す流域再生フォーラム

日時

平成24年3月25日(日) 咲花温泉 佐取館
10時～13時30分(開場9時30分～) (五泉市佐取3008番地)

場所

定員

60名
(※事前申込が必要)

参加費

1,000円
(※食の交流会費[昼食代])

申込方法
など詳細
は裏面へ

第1部 新潟水俣病の経験に向き合い、乗り越えるために



■ 紙芝居の上演

「こっこ」制作による紙芝居三部作の完結編。新潟水俣病を調べるため流域を駆け巡る小学生の成長物語。

阿賀野川
えとこだ
プロジェクト

阿賀野川
エコ
ミュージアム

■ 流域再生プロジェクトの解説

現在進行中の2つの流域再生プロジェクトの“これまで”と“これから”を解説し、阿賀野川流域の未来像を考えます。

第2部 まぼろしの阿賀の逸品を、これからの阿賀野川ブランドに活かす

流域再生の取組の過程で発掘された逸品の数々。私たちは豊かさ引き換えに何を忘れてきたのか、見つめ直します。

■ 蒸しかまど炊飯体験

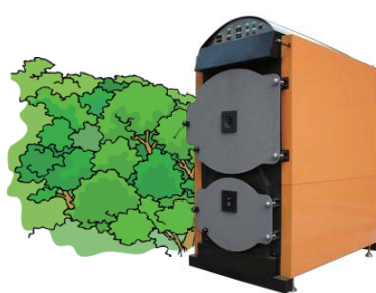
●かつて流域でも使われていた幻の「蒸しかまど」を発掘しました。大昔の器具なのに、高級炊飯器より美味しい絶品のお米が炊けます！



食文化

■ ガンファアアで沸かした足湯体験

●薪を燃料とする高燃焼効率のボイラー。山林が豊富な上流域から調達した薪を燃料に沸かした足湯をご体験ください！



■ 阿賀野川上流と中流 一食の交流会！

●右の料理のほか、蒸しかまどご飯のおにぎり、ニシンの麴漬け、帛(きぬ)トロ、川蟹汁などなど…流域再生の過程で見出した阿賀野川上流域・中流域で発達した独自の食文化を、当日は味わえます。



新潟

食

文化

今、なぜ、流域再生か？

新潟水俣病により失われた「人と人との絆」「人と自然との関係」を再び紡ぎ直す「もやい直し」を進めるため、流域の住民・行政・民間団体が手を取り合い、「阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業」(※通称「阿賀野川えとこだプロジェクト」・略称「FM事業」)を平成19年度から展開しています。しかし、阿賀野川流域の真の再生を目指すには、新潟水俣病に向き合うだけでなく、公害を経験したからこそできる、公害を乗り越える独自の取組や地域づくりを全国に向けて発信して、公害のマイナスのイメージをプラスに転化することが必要です。このために「阿賀野川エコミュージアム構想流域再生プロジェクト」も始めました。

この両事業を車の両輪のように推進していくことで、流域住民の皆さんと一緒に阿賀野川流域の「もやい直し」や疲弊した地域の再生を目指したいと考えています。

申込方法

●申込期限:平成24年3月23日(金)

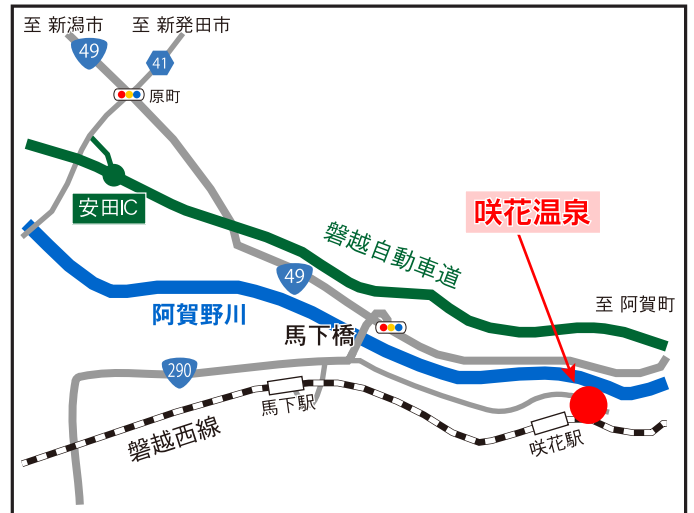
- 先着順です。定員を超えた場合はご連絡いたします。
- 下記に必要事項をご記入の上、FAX・メール・郵送、もしくは、お電話にてお申込みください。

●お問合せ・お申込み先

一般社団法人 あがのがわ環境学舎
〒959-2221 阿賀野市保田3866番地1
TEL&FAX:0250-68-5424
E-mail:aganogawa@niigata.email.ne.jp

会場地図

咲花温泉 佐取館 (五泉市佐取3008)



参加申込書

ふりがな			
お名前			
ご所属・ご職業 (※ あれば)			
ご住所	〒		
電話		FAX (※ あれば)	
メールアドレス (※ あれば)			

※ この事業の実施を目的とした用途以外に使用することはありません。